

ごみ資源化施設建設

NEWS

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

ごみ処理施設を建替える理由

町田市の唯一のごみ処理施設である町田リサイクル文化センターは、運転開始から34年が経過し、通常の維持管理費のほかに年間約10億円の修繕費がかかっています。将来にわたって安定したごみ処理を行っていくために、新たなごみ処理施設の整備が喫緊の課題となっています。



新しい熱回収施設等のコンセプトを紹介します

町田市では、町田リサイクル文化センター敷地内に、新しい熱回収施設等(焼却施設[3炉→2炉、476t/日→258t/日]、※バイオガス化施設[50t/日]、不燃・粗大ごみ処理施設[70t/日→47t/日]を一体整備)を建設するにあたり、周辺住民の代表で構成する地区連絡会等で市民のみなさんと話し合い、施設に求めるコンセプトを協働でまとめました。今後、このコンセプトに基づいた施設の整備・運営を進めてまいります。

新しい熱回収施設等のコンセプト

生活環境に配慮した施設

- ・煙突から出る排ガス等、厳しい自主規制値を遵守します。
- ・高効率発電、再生可能エネルギー等を採用します。
- ・周辺環境に調和し、地域に親しまれる施設を目指します。

安心して生活できる災害に強い施設

- ・耐震基準を満たした、地震に強い施設にします。
- ・非常時にも、炉を安全に停止させるシステムを導入します。
- ・災害時に、自力で炉を立上げ発電をします。
- ・災害時に備え、有用な備蓄品を保管します。

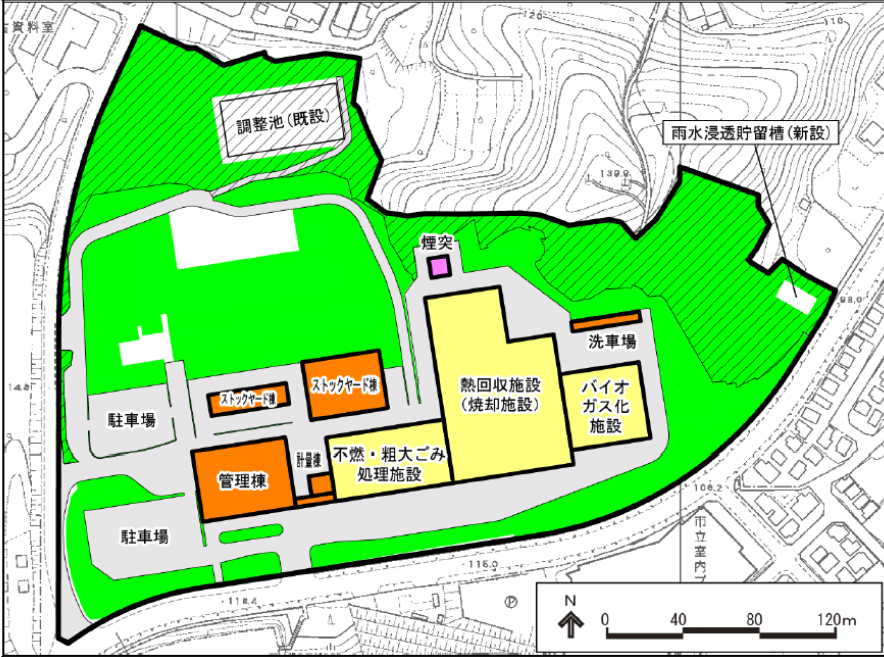
安全に生活できる安定的な運営

- ・施設の安全管理、緊急時の対応を徹底します。
- ・稼働状況を市民のみなさんに情報公開します。
- ・地域社会や市内業者に貢献できる運営をします。

学び・遊び・育むことのできる施設

- ・多様な環境学習やワークショップ等のサービスを提供します。
- ・安全かつだれもが使いやすい施設にします。
- ・市民が集い、交流し憩うことのできる空間を提供します。

【施設配置計画図(建替後)】



※バイオガス化施設とは

「燃やせるごみ」から機械選別装置で生ごみ等を取り出し、微生物の働きによりバイオガスを発生させ、それを回収します。バイオガスの主成分は、都市ガスと同じメタンガスであり、ガスエンジン発電機等でエネルギーを回収します。

整備・運営事業者の選定スケジュールをお知らせします

新しい熱回収施設等の整備・運営については公設民営(DBO方式)で行います。5月2日に町田市が求める施設の整備・運営内容を公表し、入札参加者を募りました(「入札公告」と言います)。9月に入札参加者の提案内容と価格を評価し、最もふさわしい事業者を決めて、12月議会の承認を経て契約します。

2017年7月から町田リサイクル文化センター敷地内の整備が始まり、2021年度に新しい熱回収施設等が稼働する予定です。現在ある焼却施設は、新しい熱回収施設等が稼働した後に、解体工事を始めます。

整備計画予定	2016年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		公 入 告 札				決 定 落 札 者				契 約		

※詳細につきましては以下の町田市ホームページをご覧ください。

トップページ >暮らし > 環境・ごみ > 資源とごみ > 新しい施設建設に関する情報 > [町田市熱回収施設等\(仮称\)整備運営事業に係る事業者選定について](#)

資源ごみ処理施設について

熱回収施設等の整備のほかに、ビン・カン等の資源ごみ処理施設を相原地区と上小山田地区に新たに整備します。

2016年度も引続き周辺住民の代表で構成される地区連絡会等を開催し、市民のみなさんと協働で事業を進めてまいります。

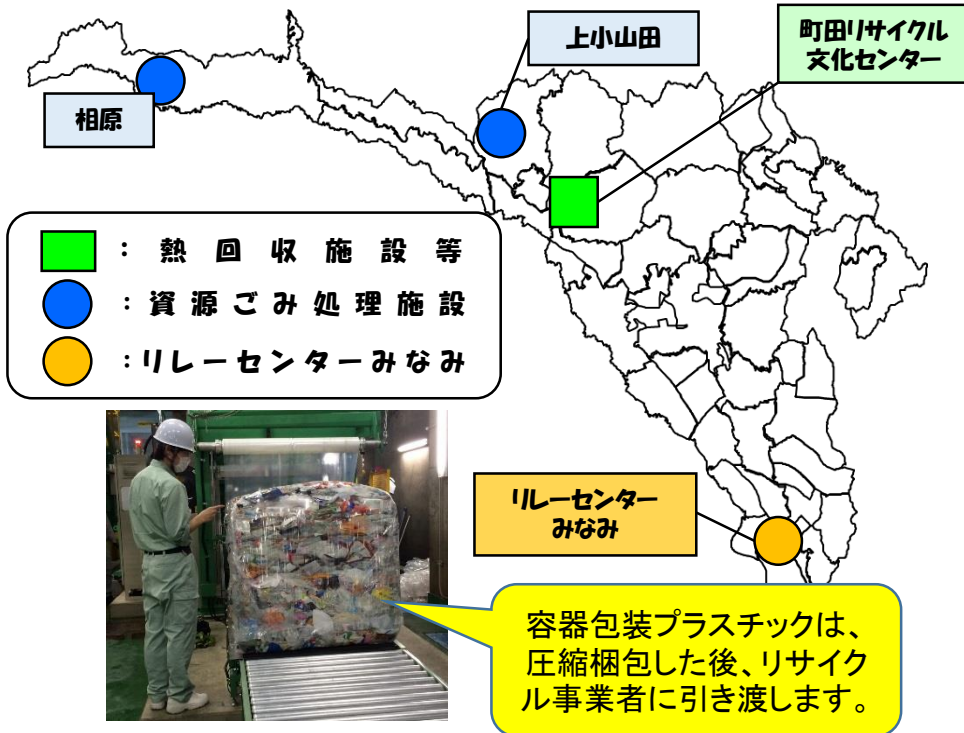
資源ごみ処理施設で扱う(処理する)もの

ビン、カン、ペットボトル、容器包装プラスチック、紙パック、乾電池、蛍光灯等を取り扱います。

資源ごみ処理施設で行う作業

ビン、カン、ペットボトル、容器包装プラスチックについては、異物を取り除く「選別」、運搬しやすいように「圧縮」や「梱包」(ビンは除く)した後、資源化する事業者へ引き渡すまで「貯留(一時保管)」をします。

その他乾電池、蛍光灯等については圧縮などはせずに「選別」し、資源化する事業者へ引き渡すまで「貯留」のみを行います。燃やしたり、化学的な処理はしません。



熱回収施設等の環境影響評価書案の説明会について

～施設の施工・設置による影響を予測・評価した結果がまとまりました～

説明会には165名の方にご出席いただきました。大勢の皆様のご参加、ありがとうございました。

Q&A

説明会でいただいた質問と回答

Q: 排ガスの自主規制値が国の基準と比較して、非常に厳しい値となっているが、規制値を満足できるのですか。

A: 自主規制値は非常に厳しい値ですが、自主規制値を満足するような施設を導入して、運転を行います。

Q: 保全措置として、「コナラやクヌギを移植して生態系への影響を低減する」とありますが、元の生態系に戻すためには長い期間がかかりますが・・・

A: 今回の工事で喪失する緑地については、可能な限り復元していきたいと考えています。

Q: 工事中の説明会や現場見学等は行いますか。

A: 説明会はこれまでも行っており、工事中についても説明会等を行います。

環境影響評価書案説明会の出席者数

	開催日時	会場	出席者数
第1回	3月20日(日)午前10時から	小山田南小学校体育館	43名
第2回	3月20日(日)午後2時から	小山田小学校音楽室	18名
第3回	3月22日(火)午後2時から	忠生市民センター第1・2会議室	55名
第4回	3月22日(火)午後7時から	町田リサイクル文化センター内2階研修室	49名

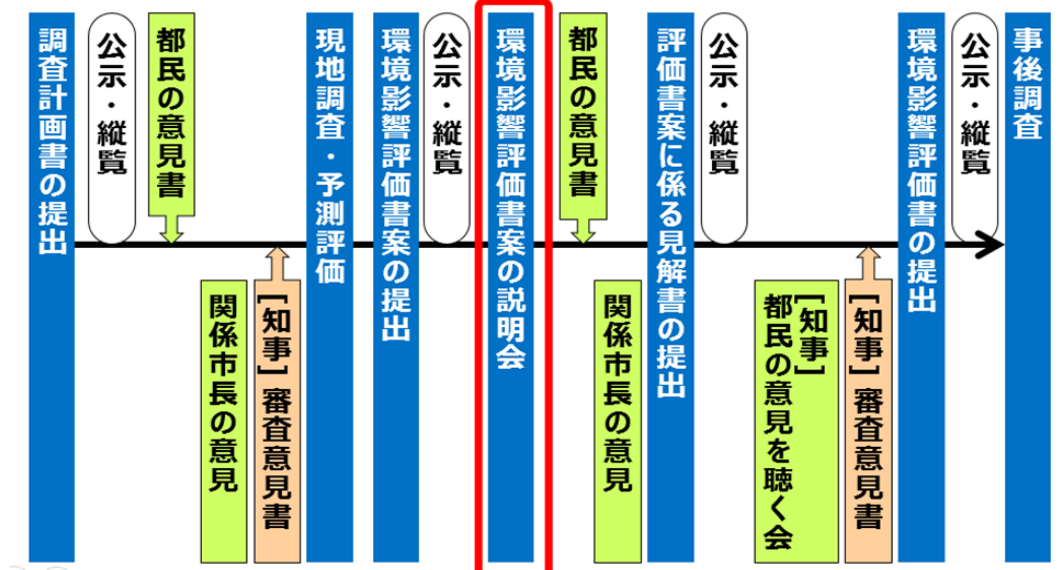
※環境影響評価書案の説明会でいただいたご質問・ご意見は以下の町田市ホームページに掲載しております。

トップページ >暮らし > 環境・ごみ > 資源とごみ > 新しい施設建設に関する情報 > 町田市資源循環型施設整備事業に伴う環境影響評価の手続きについて



説明会の様子(小山田南小学校)

今回の説明会



環境影響評価の手続きの流れ

みんなで実現! ごみマイナス40% -40%

みんなで実現!
ごみマイナス40%